

## 令和元年度防災対策特別委員会県外視察の概要

### 1 参加委員

西沢貴朗(委員長), 中山俊雄(副委員長), 福山博史, 南恒生, 北島一人, 臼木春夫, 達田良子, 仁木啓人

### 2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
9月2日(月)	高知県 室戸市(高知県室戸市) 佐喜浜町都呂津波避難シェルター
9月3日(火)	高知県 黒潮町(高知県幡多郡黒潮町) 佐賀地区津波避難タワー 高知県庁(高知県高知市)

### 3 調査目的及び視察概要

#### (1) 室戸市・佐喜浜町都呂津波避難シェルター(高知県室戸市)

##### (調査目的)

高知県が進めている南海トラフ地震・津波対策の一環として、高知県が建設し、室戸市が管理している施設で、平成28年8月に落成式が行われた。シェルター入口付近の想定最大津波浸水深は10メートルで、30センチメートル浸水する津波の想定到達時間が約16分と速く、高齢者の避難が困難なこと、また、山地災害の危険性や海岸から山岸まで約50メートルしかないこと等の地形状況を考慮し、海岸に近い崖に横杭を掘削して避難場所が世界でも初めて建設された。

これらを踏まえ、次の内容について調査を行った。

- ①室戸市の南海地震対策等について
- ②施設見学

##### (視察概要)

室戸市における南海地震対策等について説明を受けた後、佐喜浜町都呂津波避難シェルターの施設見学を行った。



## (2) 黒潮町・佐賀地区津波避難タワー（高知県黒潮町）

### （調査目的）

黒潮町は、平成24年に中央防災会議が発表した南海トラフ巨大地震の新想定において、最大震度7、最大津波高34.4メートルと全国でも最も厳しい想定が出された。そういった状況の中で、黒潮町では、厳しい想定に対しても「避難放棄者を出さず、南海トラフ地震と日本一うまく付き合う」ということを基本理念とする「黒潮町南海地震・津波防災計画の基本的な考え方」を定め、それに示された指針に基づき地震・津波対策を住民と行政が協働で進めている。そのハード対策として平成29年4月に国内トップクラスの高さを誇る佐賀地区津波避難タワーの建設が完了している。

これらを踏まえ、次の内容について調査を行った。

①黒潮町の南海地震対策について

②施設見学

### （視察概要）

黒潮町における南海地震対策等について説明を受けた後、佐賀地区津波避難タワーの施設見学を行った。



## (3) 高知県庁（高知県高知市）

### （調査目的）

高知県は、南海地震への備えを進めていくための拠り所として、「高知県南海地震による災害に強い地域社会づくり条例」を平成20年4月に施行した。また、条例の実効性を高めるため、被害の軽減や地震発生後の応急、復旧・復興のための事前の準備など、県として実施すべき取組をまとめた行動計画を平成21年4月に作成し、ハードとソフトの両面から様々な対策を進めてきた。

今年度、「南海トラフ地震に関連する臨時情報」が発表された場合の対応など新たな視点から各対策を見直した「南海トラフ地震対策行動計画（第4期：令和元年度～令和3年度）」を作成し、対策の充実と強化を図っている。

これらを踏まえ、次の内容について調査を行った。

①高知県の南海地震対策について

（津波避難タワー等整備状況、高知県独自の先進事例等）

### （視察概要）

高知県の南海トラフ地震対策行動計画の概要や住宅耐震改修の先進的な取り組みについて、視察を行った。

